

# 琵琶湖の水草問題の

## 現状と対策

## 有効利用について考える



琵琶湖では、平成6年の大渇水以降、特に南湖で水草（沈水植物）が著しく繁茂し、湖流の停滞や悪臭の発生など自然環境や生活環境に大きな影響を与えています。

このフォーラムでは、水草問題の現状と対策、有効利用について、情報提供や最新の研究を交えた情報交換を行い、今後の水草管理について考えたいと思います。

## 琵琶湖の水草フォーラム

日時：平成 **27** 年 **6** 月 **27** 日（土）

**13:00~17:00**（受付開始 12:30）

会場：コラボしが21 大会議室

（滋賀県大津市打出浜2番1号）

定員 100名、参加費 無料

主催：滋賀県



JR 琵琶湖線（JR 東海道本線）「大津」駅よりバス約7分  
または徒歩約20分

JR 琵琶湖線（JR 東海道本線）「膳所」駅より徒歩約15分  
京阪電鉄 「石場」駅より徒歩約3分

**駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください**

詳細は裏面へ

## <プログラム>

【開 会】13:00

1. 『水草の現状と変遷』（約30分）  
芳賀 裕樹 琵琶湖博物館 総括学芸員
2. 『水草対策チームの取り組み』（約10分）  
滋賀県 琵琶湖環境部 琵琶湖政策課
3. 『水草のたい肥化』（約20分）  
公益財団法人 淡海環境保全財団
4. 『ホンモロコのにぎわい復活』（約20分）  
滋賀県 農政水産部 水産課
5. 『琵琶湖研究推進機構・湖底の底質環境の評価』（約20分）  
井上 栄壮 琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員

<休憩> (約15分)

6. 『湖沼環境保全と水草バイオマスの有効利用』（約30分）  
伴 修平 滋賀県立大学 環境科学部 教授
7. 『農耕地における水草たい肥の利用』（約30分）  
大園 享司 京都大学生態学研究センター 准教授
8. 『水草のバイオエタノール化』（約30分）  
久保 幹 立命館大学 生命科学部 教授
9. 総合討論 コメンテーター (約15分)  
西廣 淳 東邦大学理学部生命圏環境科学科 准教授

【開 会】17:00

## 琵琶湖の水草フォーラム 概要

【テーマ】 水草問題の現状と対策、有効利用

【日時】 平成27年6月27日（土） 13:00～17:00 （受付開始 12:30）

【場所】 コラボしが21 大会議室 （滋賀県大津市打出浜 2-1）

【参加費】 無料

【主催】 滋賀県

【申込方法】

参加される方の 氏名・団体名・連絡先・人数を下記の電話/FAX もしくは E-mail にご連絡ください。

**お申し込み期限 平成27年6月25日（木）まで**

【お問い合わせ】滋賀県 琵琶湖環境部 琵琶湖政策課 琵琶湖再生係 担当：川崎・尼子

電話：077-528-3463, FAX: 077-528-4847, E-mail: dk00@pref.shiga.lg.jp

### FAX 送信票 (077-528-4847)

氏名/団体名		連絡先 電話	
人数		FAX/E-mail	

※ご連絡いただいた個人情報は本フォーラムに関すること以外には利用しません。